

# 高梁市の医療に関する課題の概観(案)

## (アンケート調査結果のポイント)

平成29年(2017年)11月20日

高梁市医療計画検討委員会

# 高梁市医療計画の基本方針(案) ※第1回高梁市医療計画庁内検討委員会で提示

## 「地域医療とは、まちづくり」

- ・まちのあるべき姿に向かってデータに基づく独自の医療計画を策定・推進し、2025年を目途として、持続可能な医療提供体制を構築することを目指す。
- ・まちづくりと一体となった地域医療施策によって、同様の困難に取り組む全国の中山間地域のモデルとなることを目指す。



## 「地域医療の高梁モデル構築に向け、4つの基本方針を定める。」

住民の医療需要が変化しても、適切な医療が受けられること

→ 病院間連携・病診間連携 etc

医療従事者が誇りを持って働ける、持続可能な地域医療

→ 人材育成、教育・研修 etc

ライフステージの様々な局面を支える医療の提供

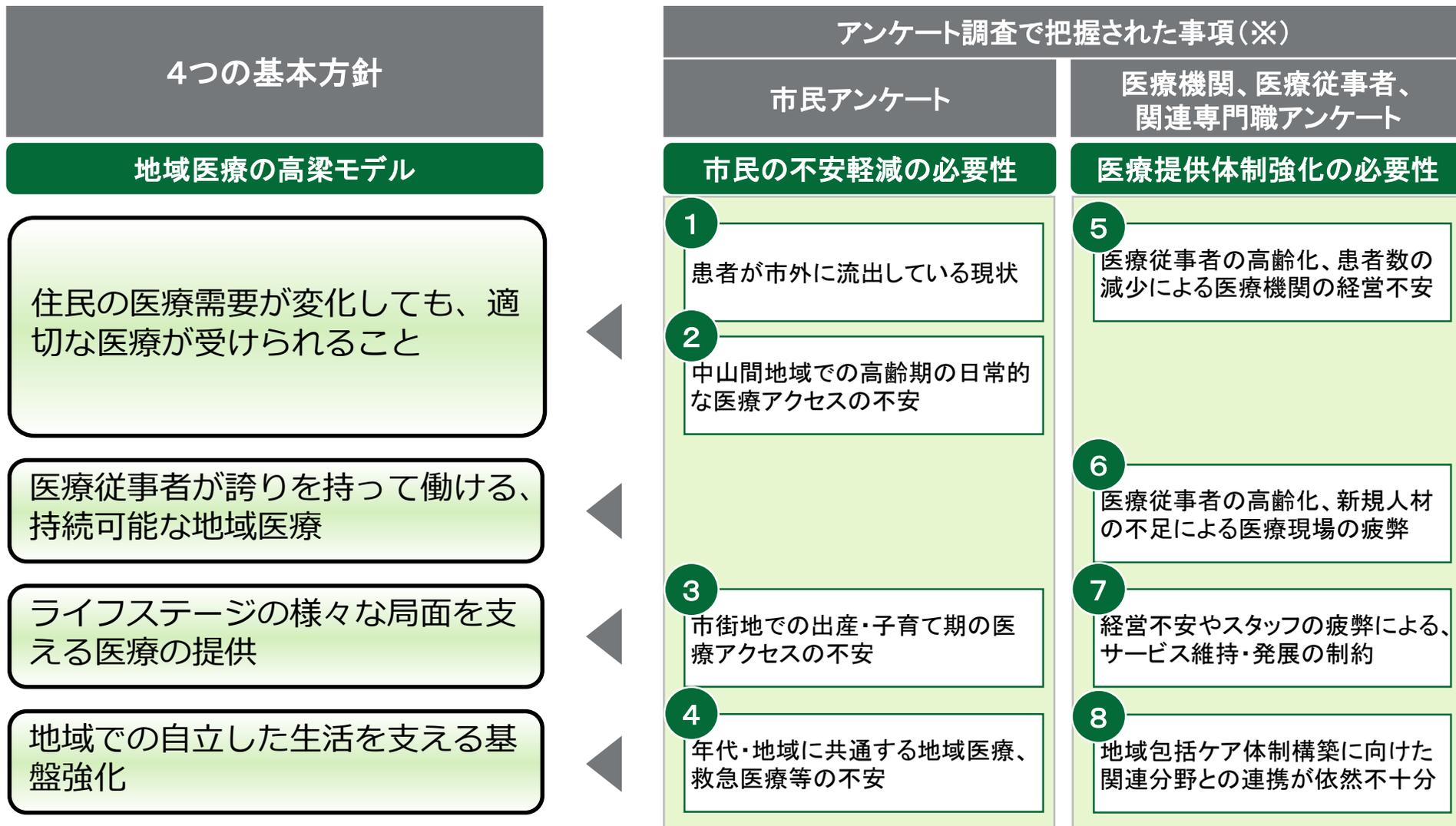
→ 子どもを産み、育てやすい環境の整備 etc

地域での自立した生活を支える基盤強化

→ 介護や健康分野等との連携により、医療の質の向上、医療の早期介入に取り組む etc

# アンケート調査の結果、4つの基本方針の背景にある課題認識が裏付けられることが確認された

## 4つの基本方針と課題認識の対応



※アンケート調査により把握できるのは現時点の傾向。需給ギャップの定量的な将来予測については、人口動態、KDBデータ等を活用して今後試算を行うことが必要。

# 市民アンケート調査により、市民の不安の具体的な内容、年代や地域別の特徴が明らかとなった

## 市民の不安軽減の必要性(要約)

市民の不安軽減の必要性	アンケート調査結果のポイント	関連設問
<p>1</p> <p>患者が市外に流出している現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の受療先のうち市外の医療機関が占める割合は、<u>日常的な医療において2割程度(うち1割弱が希望に沿わない流出)</u>、<u>急性期入院医療において6割程度(うち1割強が希望に沿わない流出)</u>、<u>回復期入院医療において6割程度(うち3割弱が希望に沿わない流出)</u>、<u>子どもの救急医療において4割程度</u>。</li> <li>日常医療においては<u>いずれの地域においても同程度(2割程度)の流出</u>が見られる。</li> </ul>	<p>市民 9,10,12,19, 25,28,29, 33,36,37, 40</p>
<p>2</p> <p>中山間地域での高齢期の日常的な医療アクセスの不安</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>川上・備中等の地域の高齢層</u>を中心として、<u>日常医療、在宅医療、内科系</u>の充実の求めが多い。</li> </ul>	<p>市民 52,60,61</p>
<p>3</p> <p>市街地での出産・子育て期の医療アクセスの不安</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>高梁・高梁東等の地域の若年層</u>を中心として、<u>出産サポート体制、周産期・小児医療、産婦人科系</u>の充実の求めが多い。</li> </ul>	<p>市民 52,60,61</p>
<p>4</p> <p>年代・地域に共通する地域医療、救急医療等の不安</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成羽地域の中年層を中心に<u>全市的に、医師・看護師の育成・確保</u>の求め、<u>耳鼻咽喉科系、皮膚・泌尿器科系</u>の充実の求めが多い。</li> <li>全市的に<u>へき地医療</u>の充実の求めが多い。</li> <li>全市的に<u>急病時・重病時における医療アクセス</u>についての不安が多い。</li> </ul>	<p>市民 52,57,60, 61</p>
<p>(上記①～④共通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>医療従事者が充実させるべきと考えるテーマも、おおむね市民の声と整合している。</u></li> </ul>	<p>医療従事者 32,33</p>

# 医療機関、医療従事者、関連専門職アンケート調査により、医療提供体制の現状、医療従事者や関連専門職の考え方の現状が明らかとなった

## 医療提供体制強化の必要性(要約)

医療提供体制強化の必要性	アンケート調査結果のポイント	関連設問
<p>5</p> <p>医療従事者の高齢化、患者数の減少による医療機関の経営不安</p>	<p>➤ <b>ほとんどの医療機関が将来的な経営環境に不安を抱えており、<u>スタッフの不足・高齢化と患者数の減少の2点が主な原因</u>となっている。</b></p>	<p>医療機関 (診療所)3,4 (病院)3,4</p>
<p>6</p> <p>医療従事者の高齢化、新規人材の不足による医療現場の疲弊</p>	<p>➤ <b>現場の思いとしては人手不足感が強いが、現実的には労働環境の改善は難しいという諦めの思いもまた強い。</b></p> <p>➤ <b>医師の高齢化が特に著しく、60代以上の割合は、診療所(常勤)で8割超、病院(常勤)で半数超。80代以上の医師は1割超。看護師・准看護師も60代以上が4割程度。</b></p> <p>➤ <b>このような中で診療所の医師、看護師・准看護師が減少している。</b></p> <p>➤ <b>病院勤務の医師、准看護師をはじめとして、週に60時間以上、80時間以上といった長時間勤務の医療従事者が一定割合存在している。</b></p> <p>➤ <b>民間診療所においては、医師の募集を行っていないところが大半。</b></p>	<p>医療従事者 10,14,15</p> <p>医療機関 (診療所) 6,10 (病院) 12,16</p>
<p>7</p> <p>経営不安やスタッフの疲弊による、サービス維持・発展の制約</p>	<p>➤ <b>初期救急、二次救急が充実していないこと、在宅医療・訪問診療が難しいこと</b>の理由として、人手不足を挙げる声が多い。</p> <p>➤ <b>遠隔診療に対して、ほとんどの医療従事者が総論賛成だが、実際の導入に際しては慎重な考え方をとっている。</b></p> <p>➤ <b>リハ職を中心に、教育システムの不十分を感じる医療従事者が多い。また、研修生の定着が少ない。</b></p>	<p>医療機関 (診療所) 17,19,27,29 (病院) 15,37,39</p> <p>医療従事者 11,26,27,30, 31</p>
<p>8</p> <p>地域包括ケア体制構築に向けた関連分野との連携が依然不十分</p>	<p>➤ <b>医師や看護師との連携不足</b>を感じる者が、医療従事者、関連専門職のほとんどの職種を通じて多くなっている。</p>	<p>医療従事者 18</p> <p>関連専門職9</p>

# 市内の医療に対する市民の不安の現状 (市民アンケート結果の分析)

# 日常的な医療においては、患者の2割程度は市外の医療機関で受療しているが、そのうち市内での受療希望があったにも関わらず市外に流出した者は1割弱であった

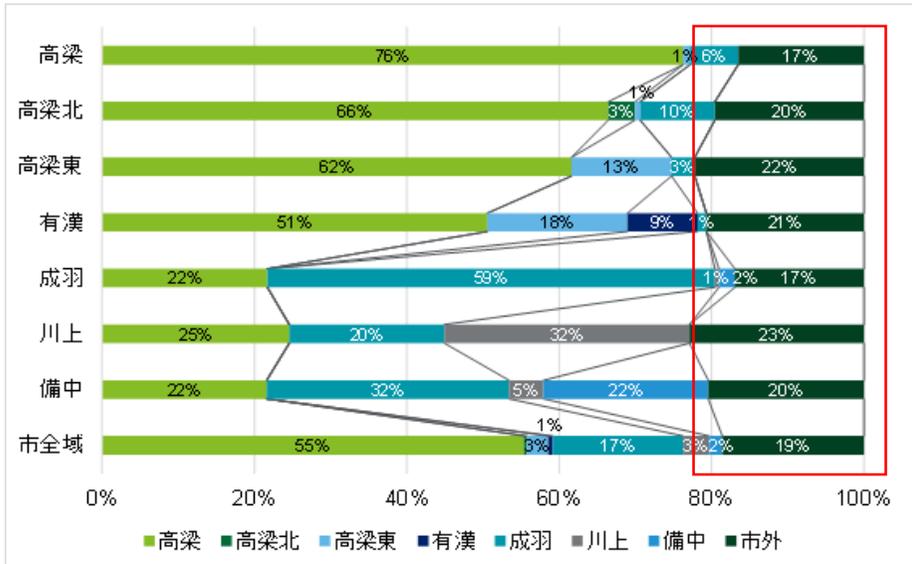
関連論点 **1**

## 市民の受療行動(日常医療)

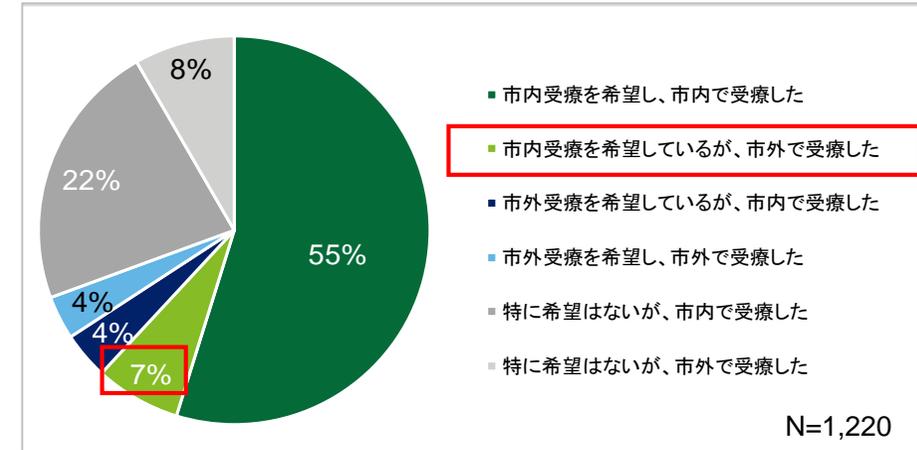
**考察**

- 最近1年間で利用した医療機関の所在地については、①高梁地域への集中が5～6割程度、②市外への依存が2割程度、③成羽地域への集中が2割程度という構成となっている。市外で受療したと回答した市民の割合については地域差はほとんど見られず、**どの地域でも2割程度の市民が市外の医療機関をよく利用した**と回答している。 ※かかりつけ医の所在地に関しても、同様の傾向。(市民アンケート問40(報告書掲載)参照)
- 市民の日常医療に関する受療地域の希望と実態を比較すると、**市民の1割弱程度が希望に沿わない形で市外に流出している**と見られる。

**Q.最近1年間でどの地域の医療機関を最もよく利用しましたか。**  
\* 市民アンケート問12



**市民の受療地域における希望と実態(日常医療)**  
\* 市民アンケート問9,10,12のクロス分析



# 入院医療(急性期)においては、患者の6割以上は市外の医療機関で受療しているが、そのうち市内での入院希望があったにも関わらず市外に流出した者は1割強であった

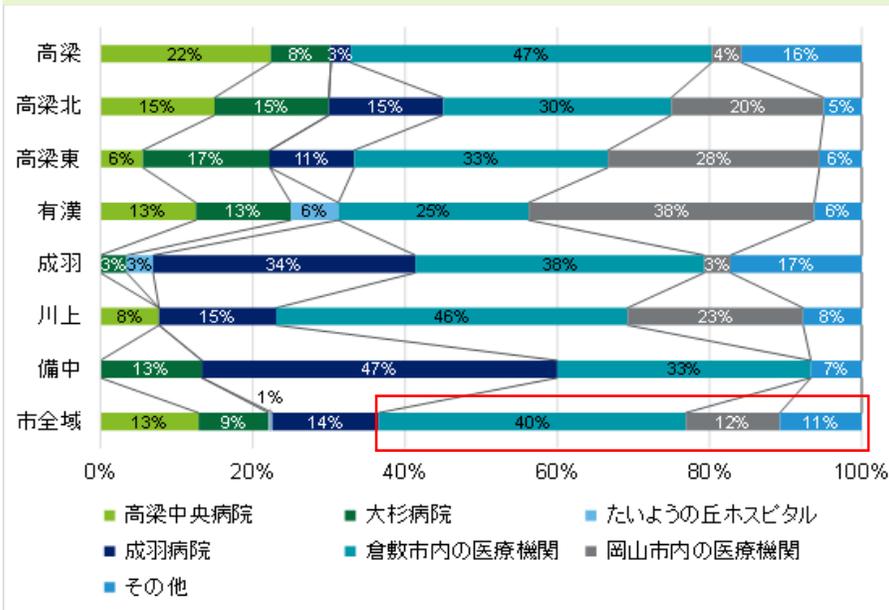
関連論点 **1**

## 市民の受療行動(急性期入院)

考察

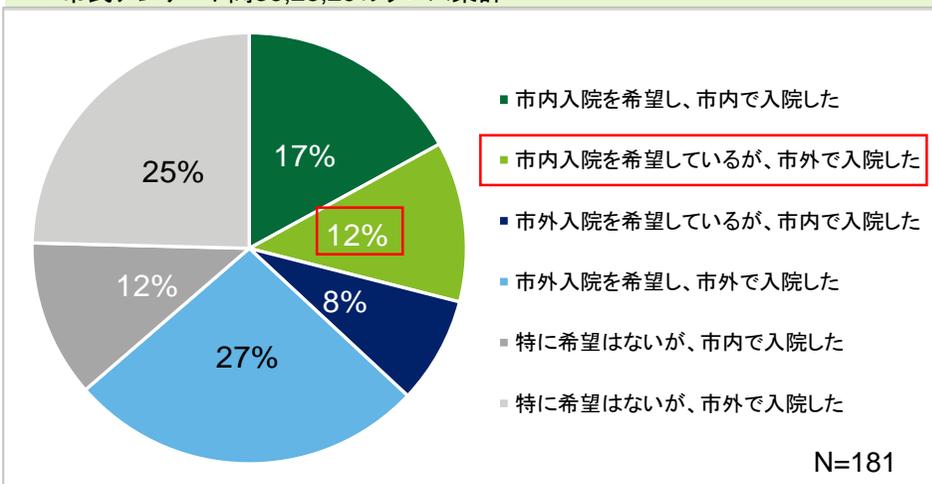
- 最近1年間に入院した市民の入院先医療機関の所在地域については、全市平均で6割以上が市外の医療機関で入院したと回答している。
- 市外の医療機関において、特に大きな割合を占めているのは、倉敷市内の医療機関であった。
- 市民の入院医療(急性期)に関する受療地域の希望と実態を比較すると、市民の1割強程度が希望に沿わない形で市外に流出していると見られる。

Q.最初にどの医療機関に入院しましたか。 \* 市民アンケート問29



市民の受療地域における希望と実態(急性期入院)

\* 市民アンケート問36,28,29のクロス集計



# 入院医療(回復期)においては、患者の6割程度は市外の医療機関で受療しているが、そのうち市内での入院希望があったにも関わらず市外に流出した者は3割弱であった

関連論点

1

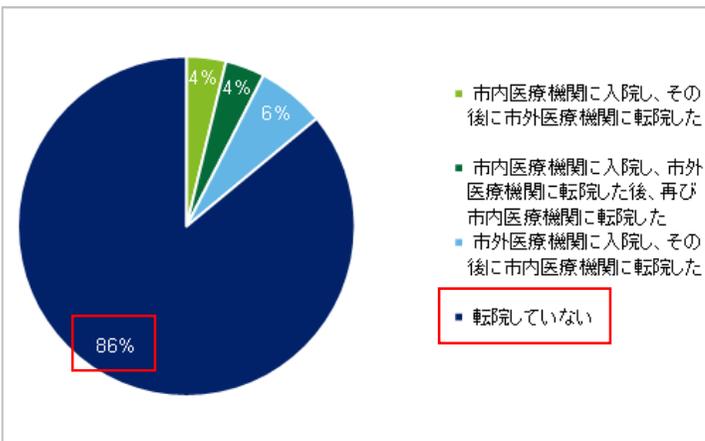
## 市民の受療行動(回復期入院)

考察

- 入院後は転院をしないケースが大半であり、9割弱を占めていた。急性期の入院から継続して回復期に移行すると考えられるため、回復期において市外で入院した者は、最近1年間に入院した市民の6割程度を占めるものと考えられる。
- 市民の入院医療(回復期)に関する受療地域の希望と実態を比較すると、市民の3割弱程度の希望がかなえられていないと見られる。

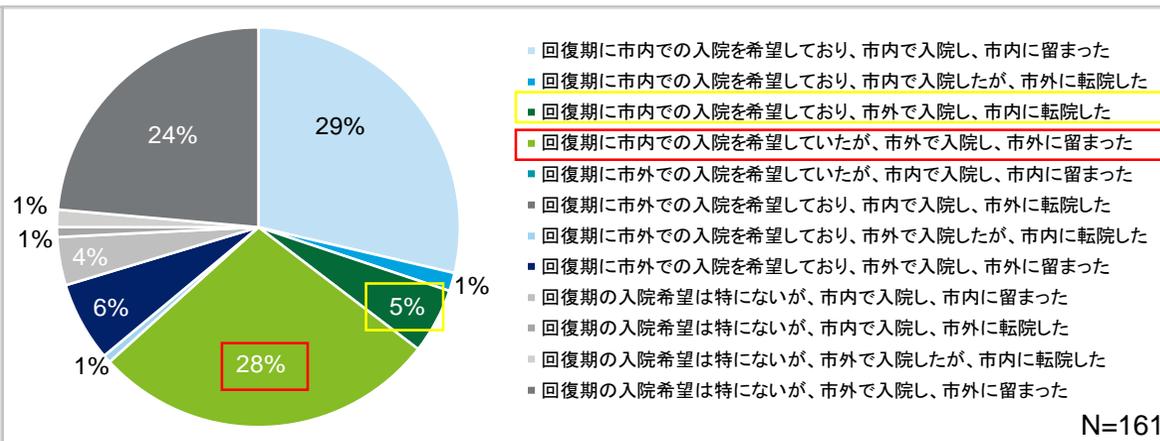
### Q.自宅に戻るまでに転院をしましたか。

\* 市民アンケート問33



### 市民の受療地域における希望と実態(回復期入院)

\* 市民アンケート問37,28,29,33のクロス集計



※「回復期に市外での入院を希望しており、最初に市内で入院した」とする回答は存在しなかったため、上記グラフの凡例から除外している。

# 自身の急病時には市内の医療機関に向かう市民であっても、子どもの急病時には、市外の医療機関に向かう姿が明らかとなった

関連論点 **1**

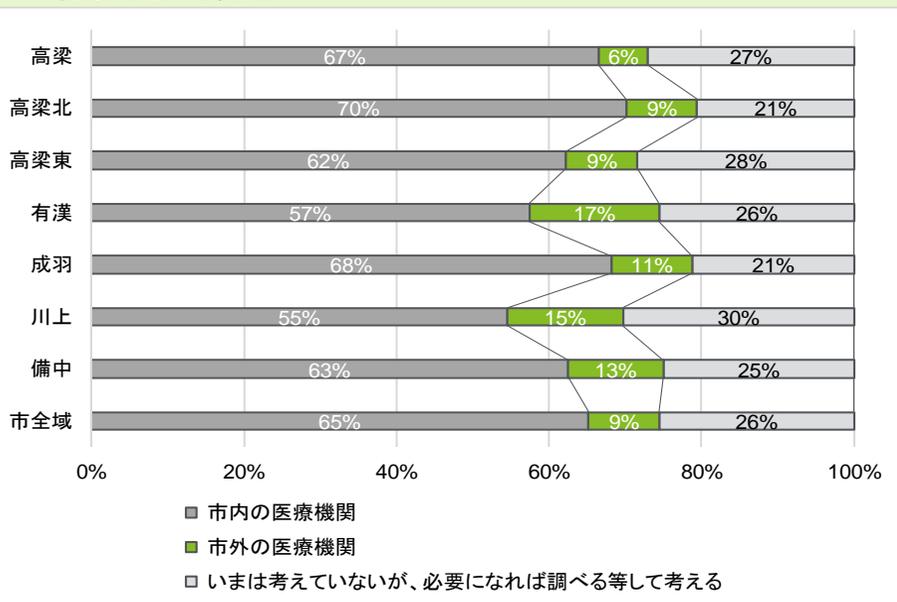
## 市民の受療行動(救急医療)

### 考察

- 早朝・深夜や休日に自身の具合が悪くなった場合、市外の医療機関へ行くと回答した市民は1割程度であった。
- しかしながら、子どもの具合が悪くなった場合においては、市外の医療機関へ行くと回答した市民は4割弱と大きく増加していた。特に有漢地域において7割、備中・高梁東地域において6割の市民が市外の医療機関へ行くと回答している。他の地域においても、3割程度の市民が市外の医療機関へ行くと回答している。

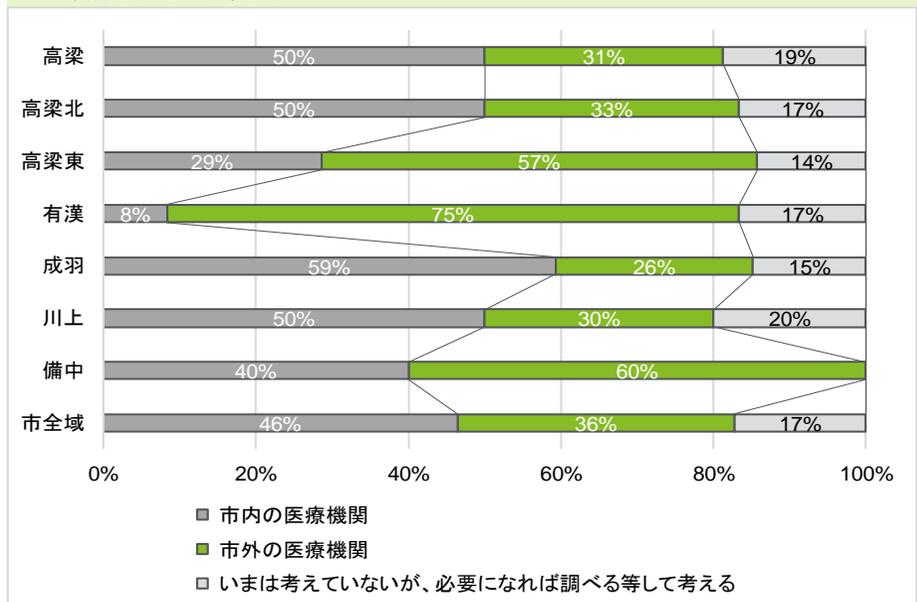
Q.(早朝・深夜や休日にあなたの具合が悪くなり、医者にかかりたい場合)どの医療機関へ行くとお考えですか。

\* 市民アンケート問19



Q.(早朝・深夜や休日には子どもの具合が悪くなり、医者にかかりたい場合)どの医療機関へ行くとお考えですか。

\* 市民アンケート問25



# 将来の医療に対する市民の不安の全体的な傾向としては、地域別には大きな差異がない一方で、年代別に見ると特徴が顕著に表れる結果となった

関連論点

全般

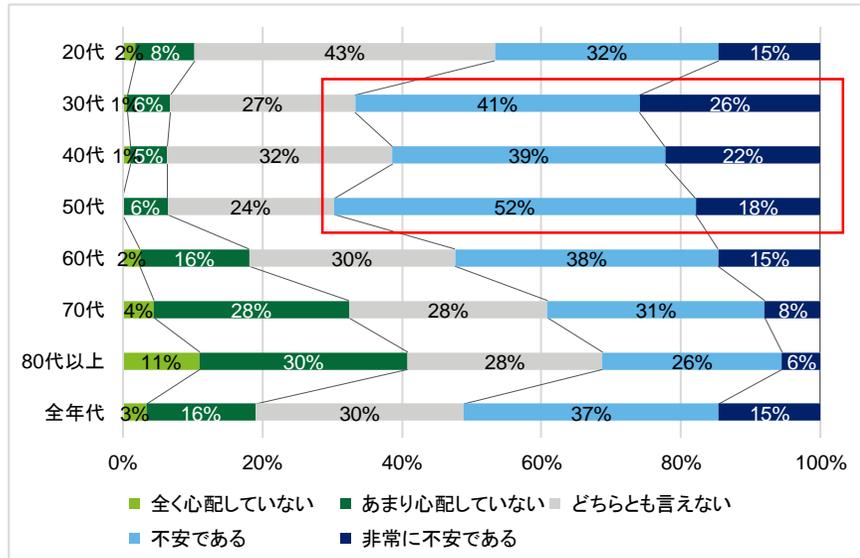
## 医療に関する市民の将来不安の傾向

考察

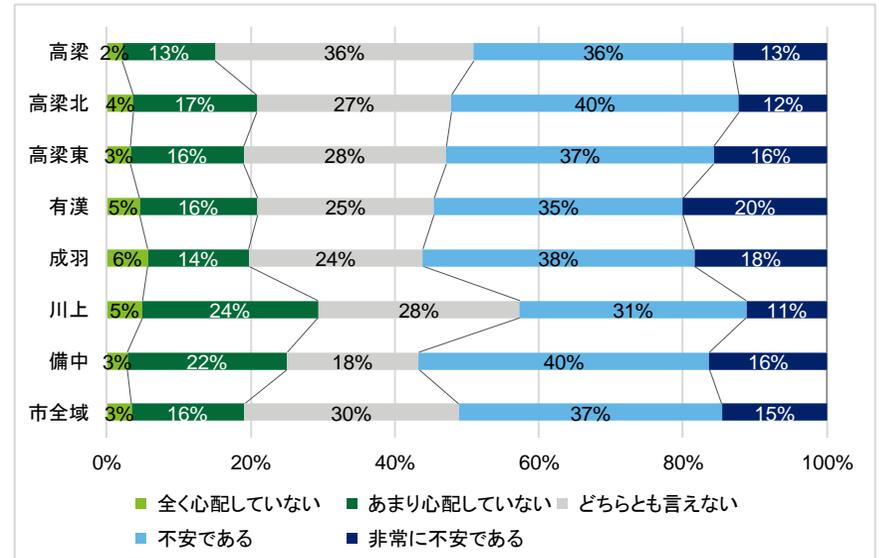
- 近い将来の市内の医療に対する市民の回答は、「全く心配していない」「あまり心配していない」を合わせると19%となっている。これに対して、「**不安である**」「**非常に不安である**」を合わせると**52%**となっており、市民の不安は大きい。
- 年代別に見ると、**30代～50代において特に不安が高まっている**。一方で、高齢者においては、年代が上がるほど不安が小さくなっており、80代以上においては、心配ないという回答が不安という回答を逆転している。
- 地域別に見ると、川上地域において不安が最も低いこと（「不安」「非常に不安」の計42%）を除いては、**各地域とも半数程度が不安を感じるという類似の傾向**がみられる。

Q.10年後といった近い将来の高梁市内の医療について、あなたのお気持ちを教えてください。 \* 市民アンケート問56

(年代別集計)



(地域別集計)



# テーマ別の要望を見ると、地域ごとの居住者の年代特性を反映し、年代別の傾向と地域別の傾向に高い関連性が表れている

関連論点 **2** **3** **4**

## 市民の要望の傾向(医療全般)

**考察** ▶ 要望1位の項目を中心に分析すると、出産サポート体制(若年層×高梁・高梁東地域)、日常医療(高齢層×川上・備中・有漢地域)、医師・看護師の育成・確保(中年層×成羽地域)の3つのテーマが浮かび上がる。

**Q.高梁市内の医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。(当てはまるもの3つまで選択)** \* 市民アンケート問60

	(年代別集計)										
		1位	2位	3位							
	日常的な医療	初期救急医療	二次救急医療	医療機関の連携	医師・看護師の育成と確保	専門家同士の職種を超えた連携	医療に関する情報提供	安心して出産できるサポート体制	患者の家族に対するサポート	行政の効率化と無駄の排除	
20代	21%	19%	26%	5%	50%	25%	8%	57%	20%	17%	
30代	30%	22%	19%	24%	39%	23%	17%	51%	21%	17%	
40代	33%	35%	29%	17%	41%	26%	11%	40%	17%	12%	
50代	30%	35%	32%	16%	45%	23%	12%	37%	20%	8%	
60代	33%	33%	29%	21%	31%	25%	9%	39%	17%	12%	
70代	34%	32%	28%	26%	28%	27%	9%	29%	20%	10%	
80代以上	41%	30%	32%	17%	32%	26%	12%	22%	16%	11%	
全年代	32%	30%	28%	19%	37%	25%	11%	38%	19%	12%	

	(地域別集計)										
		1位	2位	3位							
	日常的な医療	初期救急医療	二次救急医療	医療機関の連携	医師・看護師の育成と確保	専門家同士の職種を超えた連携	医療に関する情報提供	安心して出産できるサポート体制	患者の家族に対するサポート	行政の効率化と無駄の排除	
高梁	29%	27%	26%	18%	38%	24%	11%	42%	19%	13%	
高梁北	32%	35%	33%	26%	31%	29%	14%	33%	19%	10%	
高梁東	36%	29%	32%	18%	33%	26%	8%	42%	18%	16%	
有漢	43%	34%	30%	18%	31%	24%	13%	33%	12%	14%	
成羽	28%	29%	30%	13%	45%	25%	9%	38%	22%	13%	
川上	42%	32%	23%	20%	34%	24%	10%	30%	22%	5%	
備中	41%	40%	32%	22%	35%	26%	10%	25%	15%	8%	
市全域	32%	30%	28%	19%	37%	25%	11%	38%	19%	12%	

# (同前)

## 市民の要望の傾向(専門医療)

関連論点

2

3

4

### 考察

▶ 全市的にへき地医療の回答割合が高い。周産期・小児医療(若年層×高梁・高梁東・有漢地域)、在宅医療(高齢層×高梁北・成羽・川上・備中地域)も高い。

Q.高梁市内の専門的な医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。(当てはまるもの3つまで選択) \*市民アンケート問61

(年代別集計)

1位 2位 3位

	三次救急医療	災害医療	へき地医療	周産期医療	小児医療	在宅医療	がんの専門的な医療体制	脳卒中の専門的な医療体制	急性心筋梗塞の専門的な医療体制	糖尿病の専門的な医療体制	精神疾患の専門的な医療体制
20代	25%	11%	43%	53%	30%	20%	25%	8%	14%	9%	18%
30代	23%	15%	42%	48%	66%	16%	31%	6%	7%	4%	8%
40代	27%	14%	50%	38%	46%	32%	25%	14%	8%	4%	14%
50代	26%	12%	60%	39%	30%	36%	20%	17%	14%	4%	6%
60代	33%	11%	48%	32%	23%	36%	25%	19%	12%	7%	5%
70代	33%	15%	53%	22%	13%	41%	29%	20%	18%	9%	7%
80代以上	31%	13%	58%	15%	11%	39%	23%	26%	22%	5%	6%
全年代	29%	13%	51%	34%	29%	33%	25%	17%	14%	6%	9%

(地域別集計)

1位 2位 3位

	三次救急医療	災害医療	へき地医療	周産期医療	小児医療	在宅医療	がんの専門的な医療体制	脳卒中の専門的な医療体制	急性心筋梗塞の専門的な医療体制	糖尿病の専門的な医療体制	精神疾患の専門的な医療体制
高梁	29%	14%	40%	38%	35%	27%	28%	17%	15%	7%	10%
高梁北	33%	13%	61%	26%	23%	37%	26%	16%	16%	3%	6%
高梁東	34%	12%	50%	39%	35%	33%	21%	16%	15%	6%	5%
有漢	30%	14%	63%	33%	27%	26%	20%	18%	13%	6%	8%
成羽	32%	12%	55%	35%	23%	41%	24%	17%	12%	6%	9%
川上	17%	10%	58%	27%	20%	37%	24%	16%	13%	9%	10%
備中	25%	12%	80%	25%	17%	41%	16%	13%	9%	5%	6%
市全域	29%	13%	51%	34%	29%	33%	25%	17%	14%	6%	9%

# (同前)

関連論点

2

3

4

## 市民の要望の傾向(診療科)

### 考察

- **産婦人科系**の充実を求める声は、若年層にとどまらず幅広い年代で高くなっている。地域的には特に高梁・高梁東地域で高いが全市的なものといえる。
- **内科系**の充実を求める声は、高齢層×高梁北・有漢・川上・備中地域で高い。
- **耳鼻咽喉科系、皮膚・泌尿器科系**の充実を求める声が、成羽地域を筆頭に全年代・全市的に見られる。

Q.診療日数や医療機関数について、市内で充実してほしい診療科を教えてください。(当てはまるもの3つまで選択) \* 市民アンケート問52

1位 2位 3位

(年代別集計)

	内科系	外科系	整形外科系	産婦人科系	小児科系	耳鼻咽喉科系	皮膚・泌尿器科系	精神科系	特にな	その他
20代	29%	9%	17%	51%	14%	24%	32%	13%	14%	5%
30代	22%	8%	7%	53%	25%	39%	37%	6%	13%	2%
40代	26%	10%	23%	55%	34%	43%	40%	7%	7%	6%
50代	25%	11%	24%	46%	18%	37%	33%	4%	12%	5%
60代	25%	13%	21%	42%	17%	25%	31%	6%	15%	5%
70代	38%	14%	26%	26%	6%	31%	23%	7%	15%	5%
80代以上	48%	19%	27%	15%	3%	19%	23%	7%	23%	4%
全年代	31%	13%	22%	39%	16%	30%	30%	7%	15%	5%

1位 2位 3位

(地域別集計)

	内科系	外科系	整形外科系	産婦人科系	小児科系	耳鼻咽喉科系	皮膚・泌尿器科系	精神科系	特にな	その他
高梁	27%	10%	20%	46%	18%	32%	31%	7%	14%	4%
高梁北	35%	18%	17%	33%	13%	28%	33%	5%	16%	5%
高梁東	27%	13%	17%	42%	25%	34%	36%	5%	12%	8%
有漢	38%	17%	18%	35%	15%	24%	26%	8%	18%	3%
成羽	33%	13%	33%	34%	12%	34%	35%	9%	11%	5%
川上	38%	16%	23%	33%	13%	22%	23%	7%	18%	3%
備中	39%	14%	24%	27%	9%	21%	24%	6%	20%	6%
市全域	31%	13%	22%	39%	16%	30%	30%	7%	15%	5%

# 日常的な医療だけでなく、初期救急・二次救急体制についても全市的な不安が高い状態にある

関連論点 **4**

## 市民の医療に関する将来不安の内容

**考察**

- 急病時・重病時における医療アクセスについて、年代、地域を問わず全市的に不安が多い。
- 次いで、医療従事者の高齢化、地域医療の維持についても、不安が広がっている。

Q.将来の高梁市内の医療について、何が不安ですか。(当てはまるもの3つまで選択) \* 市民アンケート問57

(年代別集計)		1位	2位	3位							
	医療機関への交通手段	急病時にすぐ診てくれる医師がいるか	重い病気をしたときに診てくれる医師がいるか	近隣の医療機関が廃業・撤退してしまわないか	分娩施設がないため、安心して出産ができない	子どもが適切な医療を受けられるか	医療従事者が高齢化しており、地域医療が維持できないのではないか	自身が希望する場所で最期を迎えられないのではないか	感じる	はつきりとは分らないが、不安を感じる	その他
20代	19%	29%	52%	34%	41%	18%	55%	7%	5%	2%	
30代	17%	67%	41%	23%	33%	40%	33%	1%	11%	2%	
40代	23%	65%	45%	27%	18%	38%	44%	8%	11%	2%	
50代	26%	62%	46%	27%	22%	11%	40%	4%	19%	2%	
60代	26%	58%	43%	15%	17%	11%	31%	14%	32%	1%	
70代	43%	59%	33%	16%	13%	5%	18%	15%	34%	1%	
80代以上	50%	50%	22%	6%	9%	6%	26%	13%	45%	2%	
全年代	28%	57%	41%	21%	21%	18%	35%	9%	23%	2%	

(地域別集計)		1位	2位	3位							
	医療機関への交通手段	急病時にすぐ診てくれる医師がいるか	重い病気をしたときに診てくれる医師がいるか	近隣の医療機関が廃業・撤退してしまわないか	分娩施設がないため、安心して出産ができない	子どもが適切な医療を受けられるか	医療従事者が高齢化しており、地域医療が維持できないのではないか	自身が希望する場所で最期を迎えられないのではないか	感じる	はつきりとは分らないが、不安を感じる	その他
高梁	16%	54%	43%	22%	24%	23%	41%	12%	18%	1%	
高梁北	38%	65%	39%	14%	20%	14%	30%	12%	27%	3%	
高梁東	27%	57%	43%	18%	27%	21%	34%	5%	24%	3%	
有漢	42%	56%	44%	23%	16%	12%	22%	7%	34%	3%	
成羽	32%	62%	44%	17%	16%	16%	39%	4%	26%	0%	
川上	38%	52%	30%	28%	18%	11%	30%	9%	24%	3%	
備中	51%	59%	31%	31%	17%	12%	24%	5%	24%	1%	
市全域	28%	57%	41%	21%	21%	18%	35%	9%	23%	2%	

# 医療従事者の視点からも、市民の要望と相通じる問題意識が表れている

関連論点

2

3

4

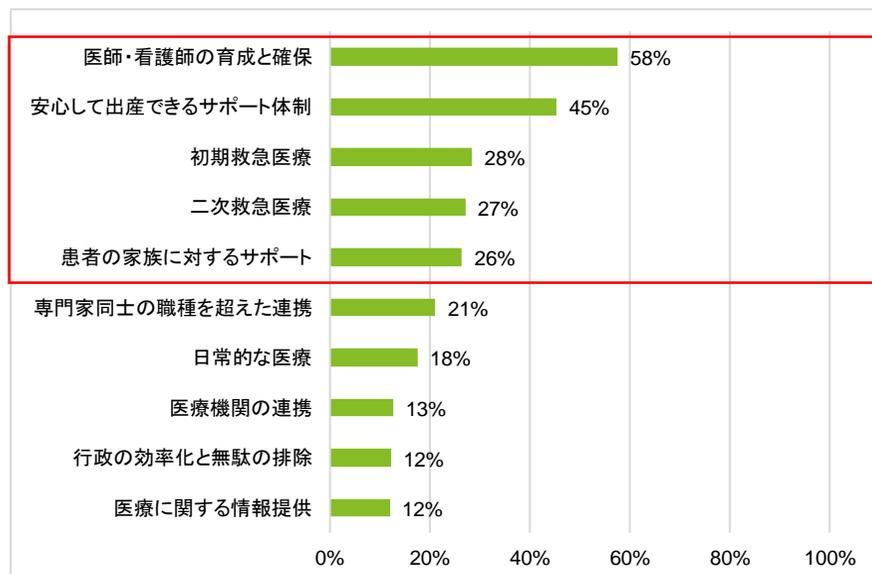
## 医療従事者が充実させるべきと考えるテーマ

### 考察

- 大きな傾向として、市民が要望するテーマと対応するテーマが多く選択されていると言える。
  - ✓ 医師・看護師の育成と確保、初期救急、二次救急、へき地医療
  - ✓ 出産サポート体制、小児医療、周産期医療
  - ✓ 在宅医療、患者の家族に対するサポート
- 日常的な医療に関しては、市民と比較すると医療従事者では比較的挙げる声は少ない。反面、初期救急・二次救急が上位に挙がっている。

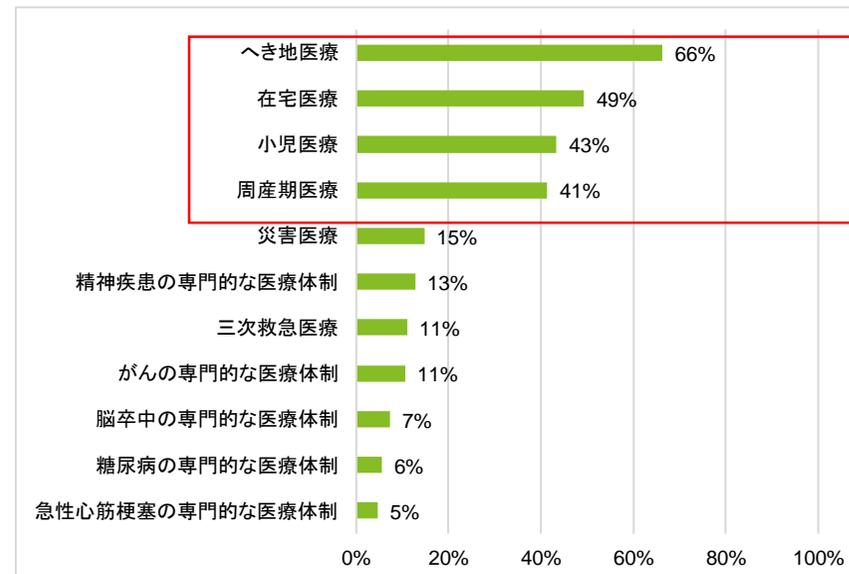
### Q.高梁市内の医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。(当てはまるもの3つまで選択)

\* 医療従事者アンケート問32



### Q.高梁市内の専門的な医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。(当てはまるもの3つまで選択)

\* 医療従事者アンケート問33



# 市内の医療提供体制、医療従事者等の考え方の現状 (医療機関、医療従事者、関連専門職アンケート結果 の分析)

# 市内の医療機関のほとんどが経営環境に不安を抱えている

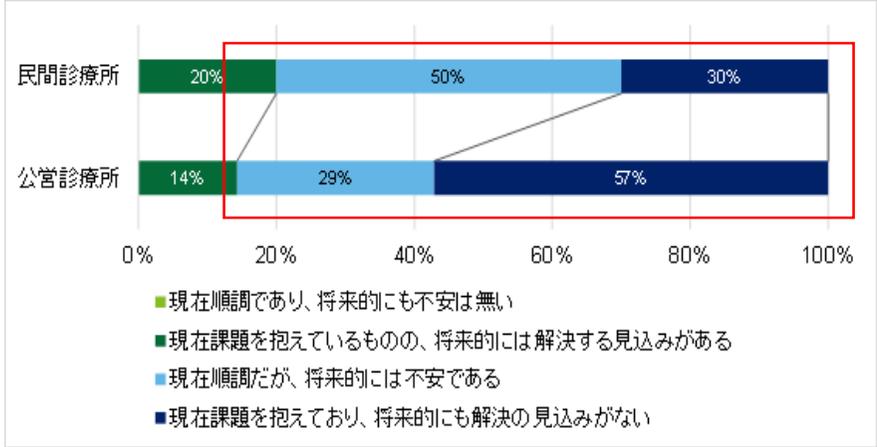
## 医療機関の経営不安

**考察** ▶ ほとんどの医療機関が将来的な経営環境に不安を抱えており、スタッフの不足・高齢化と患者数の減少の2点が主な原因となっている。

### Q. 貴機関の経営環境について教えてください。

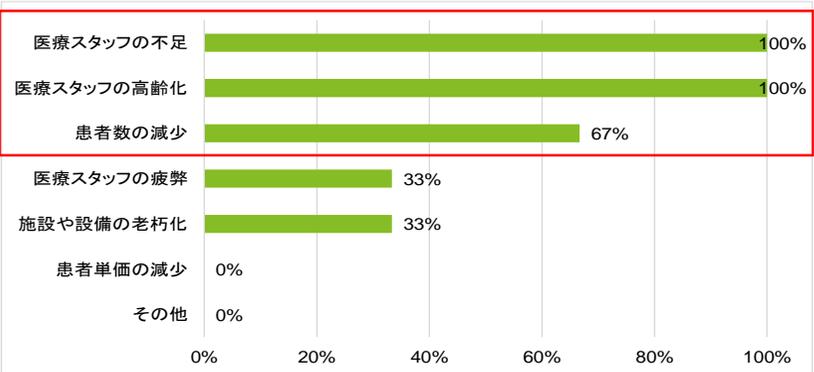
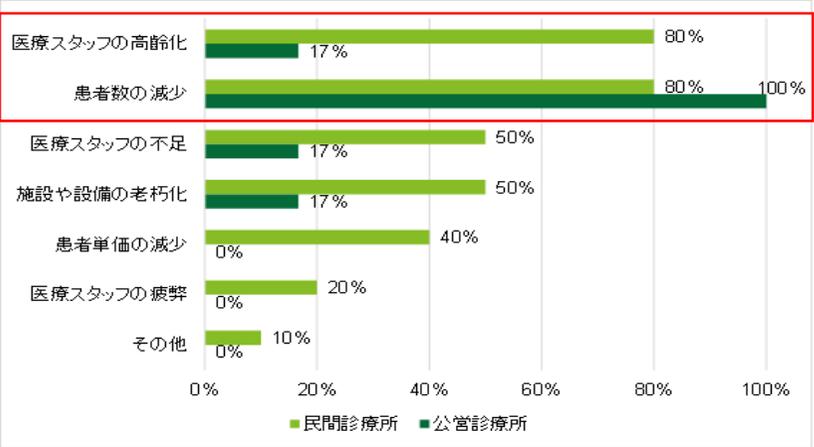
\* 医療機関アンケート(診療所)問3、(病院)問3

診療所



### Q. 課題・不安の具体的な内容を教えてください。(当てはまるもの全て選択) \* 医療機関アンケート(診療所)問4、(病院)問4

病院



- ✓ 回答のあった3病院全てが将来的な不安を抱えている。
- ✓ そのうち、2か所の病院は、「現在課題を抱えており、将来的にも解決の見込みがない」としている。

# 医療従事者の高齢化が進行している中で、総数で減少している職種も多く、高齢化に歯止めがかからない状況となっている

関連論点

6

## 医療従事者の年齢構成、増減

考察

- **医師の高齢化が特に著しく、診療所勤務(常勤)の医師では60代以上が8割を超えており、病院勤務(常勤)の医師では60代以上が半数を超えている。** いずれも、80代以上の医師が1割以上となっている。
- 次いで、**看護師・准看護師の高齢化**が進んでおり、診療所(常勤)、病院(常勤)ともに**60代以上が4割程度**となっている。
- 直近3年間の増減をみると、このような中で、**診療所の医師、看護師・准看護師は減少**している。

Q. 貴事業所における、年齢区分ごとの現員数・退職者数・新規就業者数を教えてください。

(退職者数、新規就業者数は平成26年度～平成28年度の3年間の合計) \* 医療機関アンケート(診療所)問6、(病院)問12

医療従事者の年齢構成

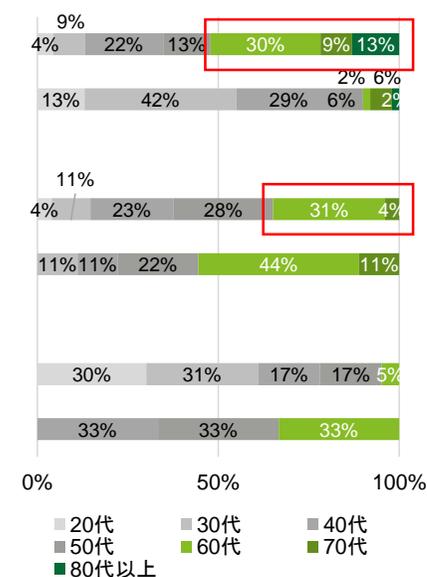
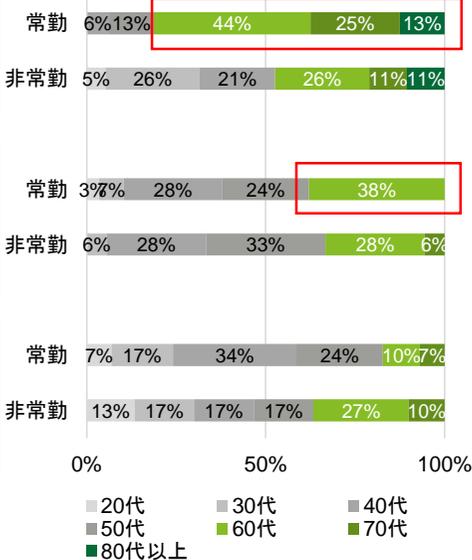
診療所(民間、公営)

病院

医師

看護師  
准看護師

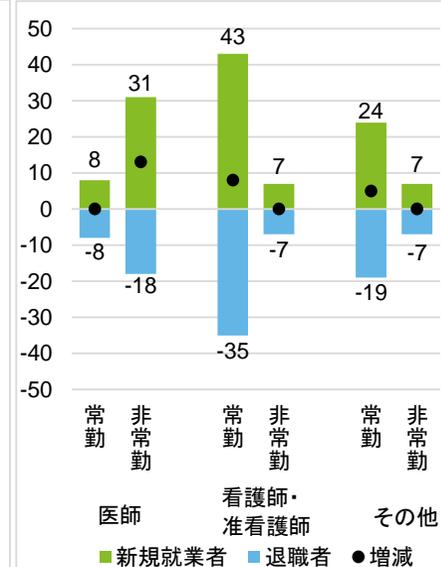
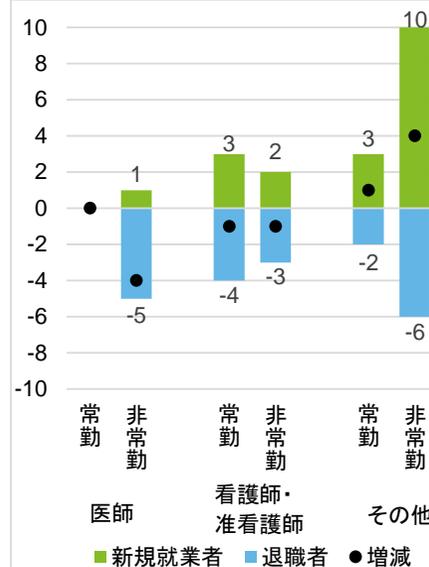
その他



直近3年間の新規就業・退職者数

診療所(民間、公営)

病院



# 人材確保においては、民間診療所の医師など、募集が行われていないケースもある。 病院での採用においては、求人等と並んで個人的な人脈の比重が大きい

関連論点 **6**

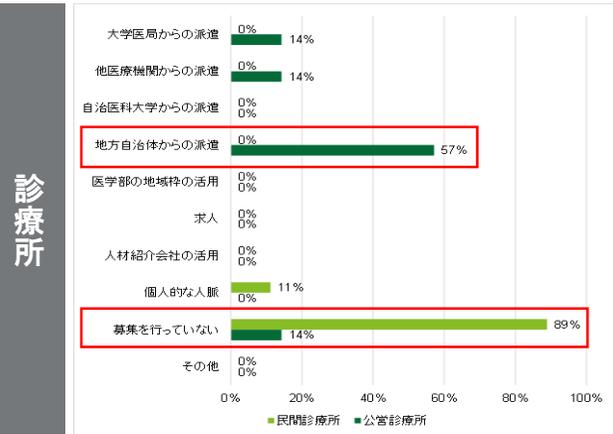
## 医療従事者の確保手段

**考察**

- 民間診療所においては、医師募集を行っていないところが大半、看護師についても3割が募集を行っていない。
- 病院においては、各職種において医局からの派遣や求人と並んで個人的な人脈が大きな比重を占めている。

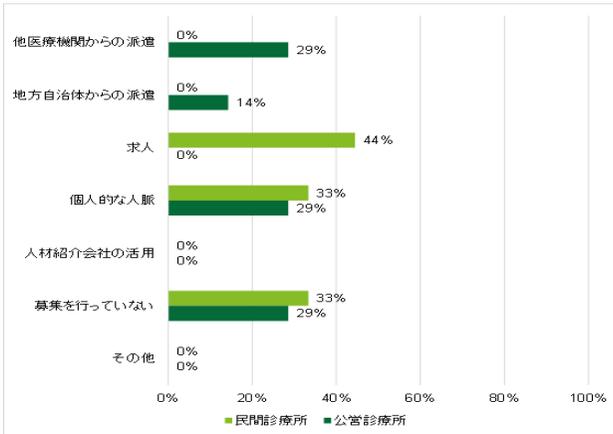
Q.どのようにして医師を確保していますか。(当てはまるもの全て選択)

\* 医療機関アンケート(診療所)問10、(病院)問16



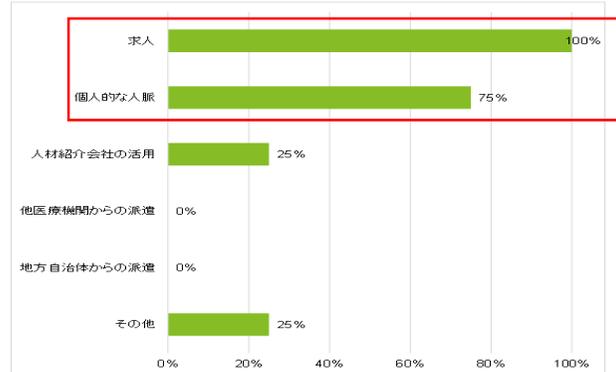
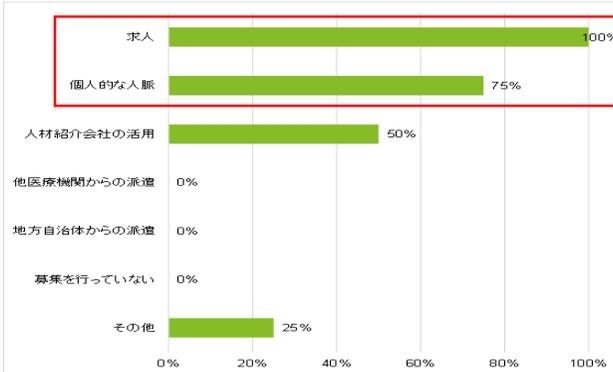
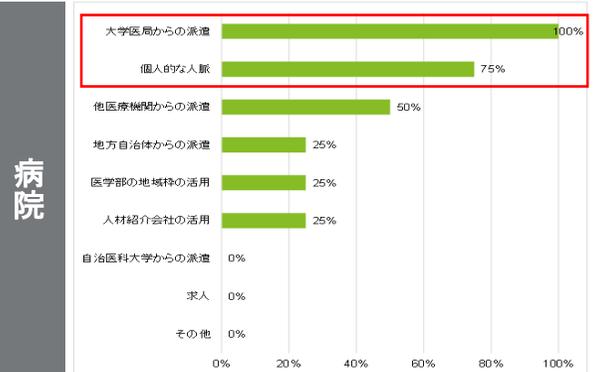
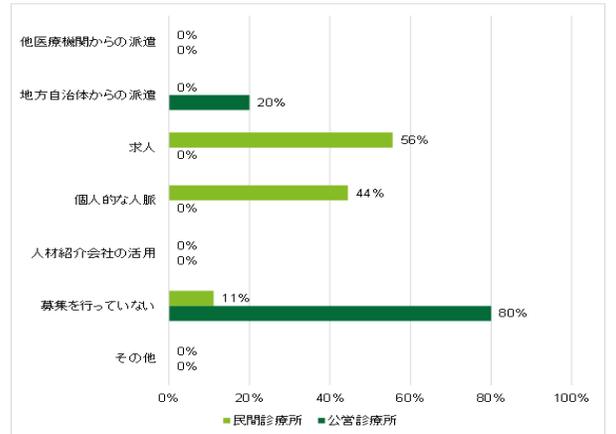
Q.どのようにして看護師を確保していますか。(当てはまるもの全て選択)

\* 医療機関アンケート(診療所)問11、(病院)問17



Q.医師・看護師以外のスタッフについて、どのようにして確保していますか。(当てはまるもの全て選択)

\* 医療機関アンケート(診療所)問12、(病院)問18



# 離職者の復帰採用について、診療所は消極的、病院は積極的である

関連論点

6

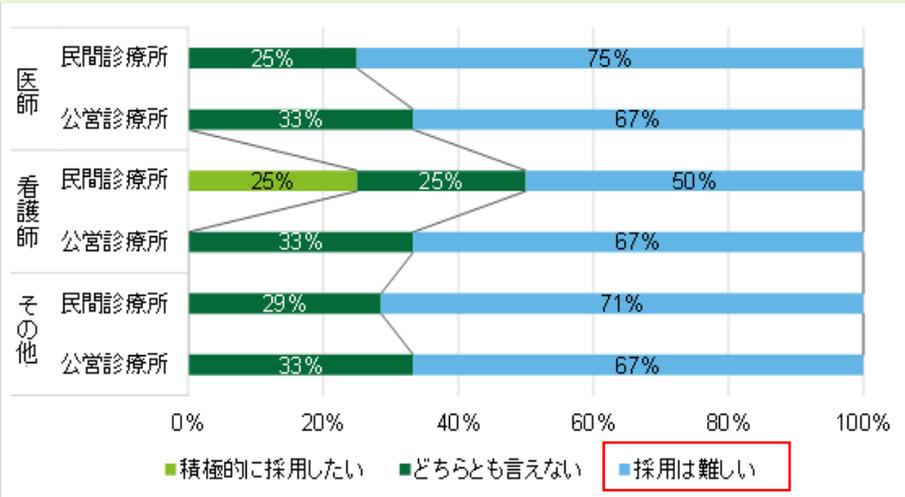
## 離職者の採用意向

### 考察

- ▶ 民間診療所ではスタッフを増やす必要がない、公営診療所ではスタッフを増やす余裕がないという理由から、離職者の採用は難しい状況。
- ▶ 病院においては、離職者の採用について積極的である。

### Q.離職者の復帰について、貴機関の考えを教えてください。

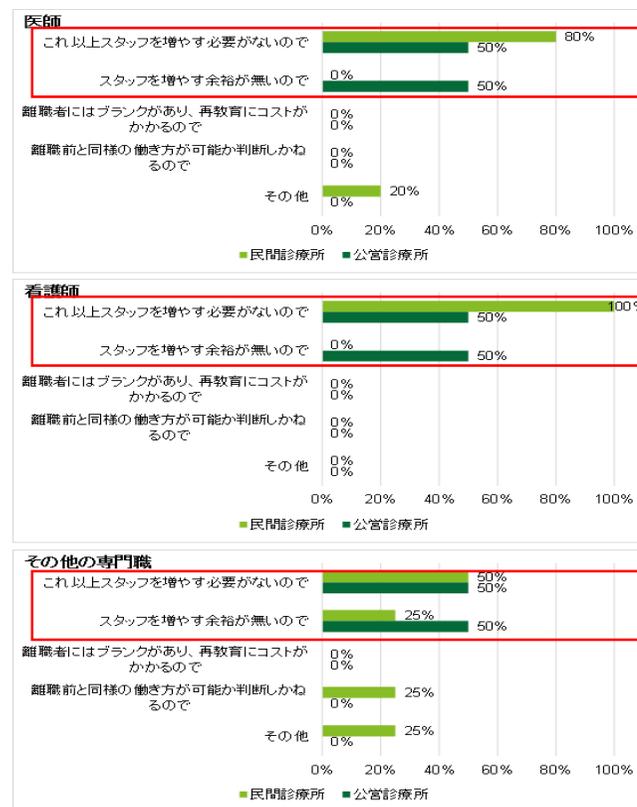
(職種ごとに選択) \* 医療機関アンケート(診療所)問15、(病院)問21



- ✓ 医師・看護師・准看護師に関しては、全ての病院が離職者について「積極的に採用したい」と回答している。
- ✓ その他専門職に関しては「積極的に採用したい」と「どちらとも言えない」がそれぞれ50%となっている。

### Q.離職者の復帰が難しい理由を教えてください。(当てはまるもの

全て選択) \* 医療機関アンケート(診療所)問16



# 医療従事者の労働時間には職種と勤務施設によってバラつきがあるが、一部において長時間勤務者が多くなっている

関連論点

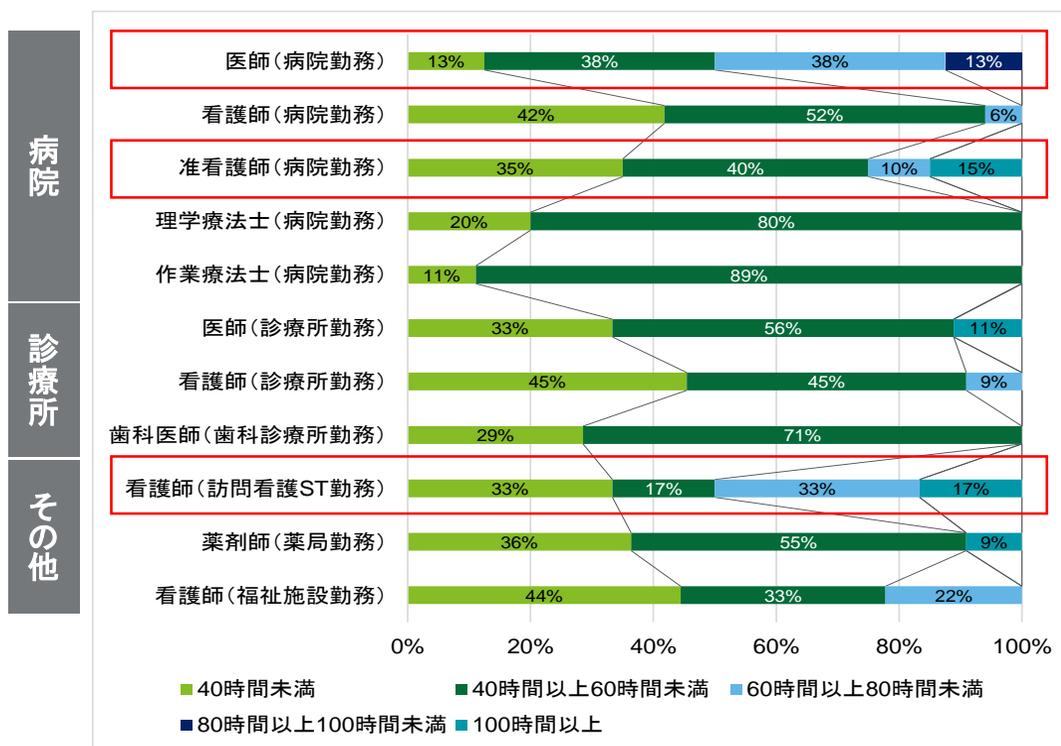
6

## 医療従事者の1週間当たり労働時間

考察

- ▶ 特に**病院勤務の医師**において、半数が週60時間以上、1割が週80時間以上の勤務となっている。また、**病院勤務の准看護師**においては、15%が週100時間以上の勤務となっている。他の施設においては、**訪問看護ステーション勤務の看護師**において、半数が週60時間以上、17%が週100時間以上の勤務となっている。
- ▶ 高齢化と合わせて考えると、上記の職種・勤務施設のスタッフの負担感は相当程度強いものと考えられる。

Q.あなたの1週間の勤務時間について教えてください。 \* 医療従事者アンケート問15



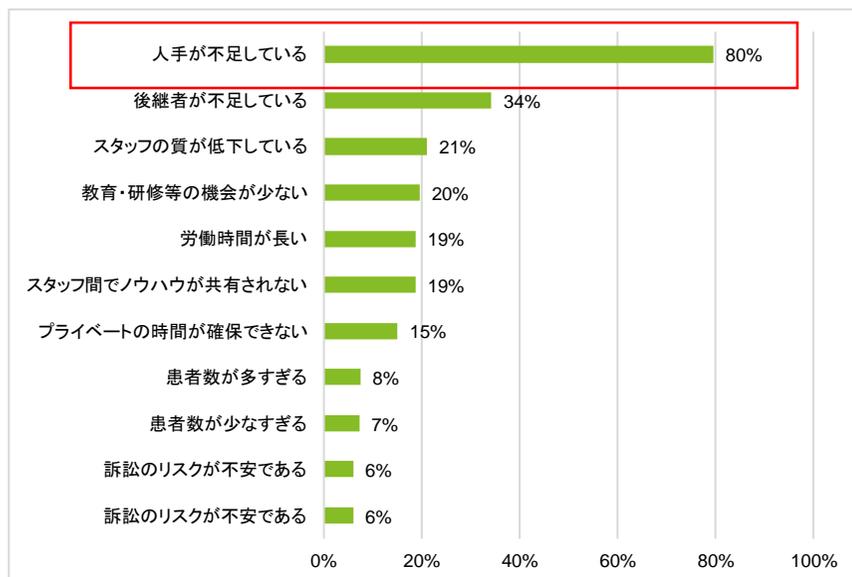
# 医療現場では人手不足感が強く、労働環境の改善を希望する声が多いものの、大半の者が現実的には改善は難しいと考えている

## 医療従事者の労働環境についての認識

### 考察

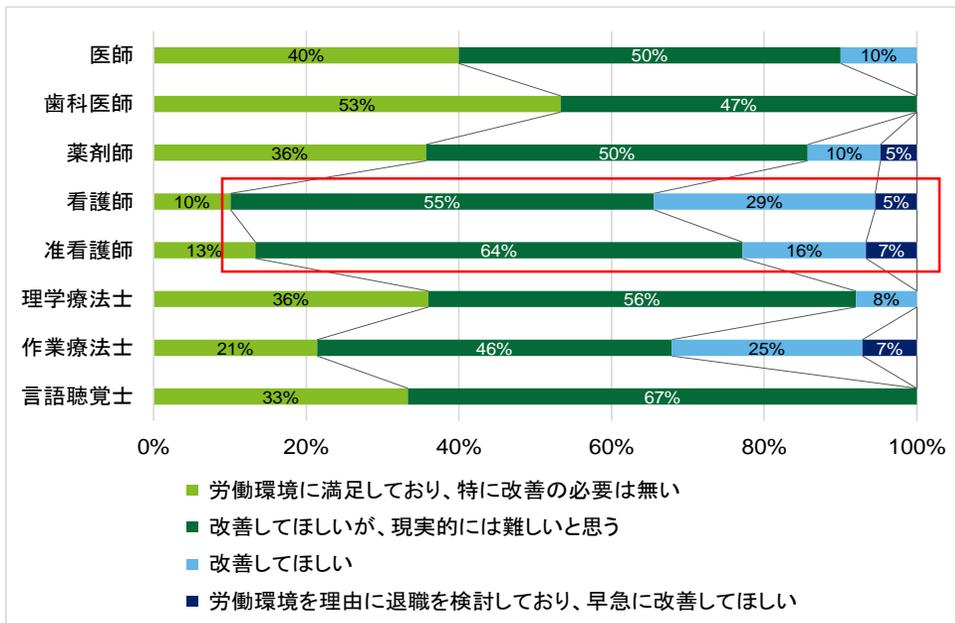
- **医療従事者の日常の課題認識としても人手不足感を挙げる声は多く、8割近くの医療従事者が課題に挙げている。**
- 労働環境に対する満足度は職種によってバラつきがあるものの、全般的に低めである。しかし、**大半の者が現実には労働環境の改善は難しいと思うという諦めを抱いている。**
- **看護師・准看護師における満足度は特に低く、9割程度が改善を希望しているが、現実的には難しいと思う者が多い傾向は他職種と同様である。**
- 医療従事者の高齢化や勤務時間を考慮すると、医療現場の疲弊が懸念される。

Q.日常の勤務において、課題と感じていることがあれば教えてください。(当てはまるもの全て選択) \* 医療従事者アンケート問10



Q.あなたの現在の労働環境について教えてください。

\* 医療従事者アンケート問14



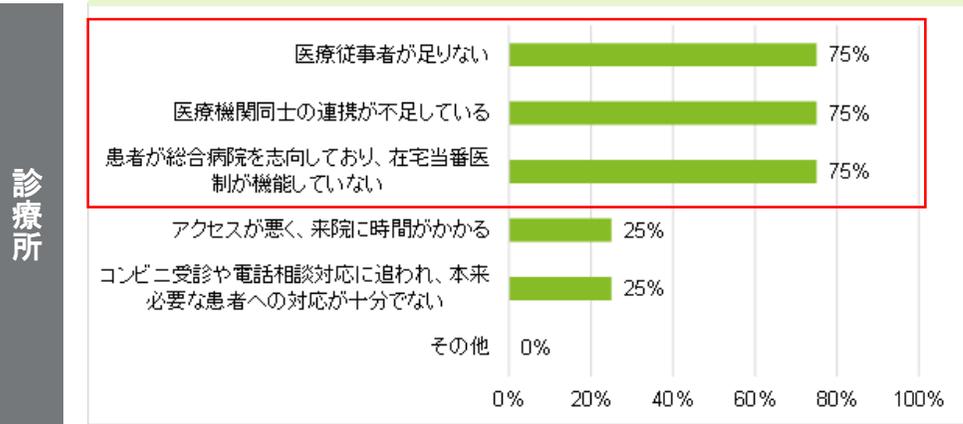
# 市内の初期救急体制、二次救急体制が充実していないことの理由として、人手不足と医療機関同士の連携不足が挙げられている

関連論点 **7**

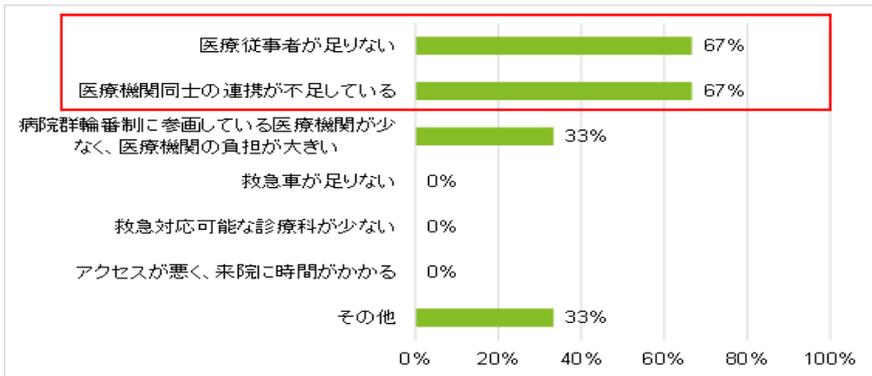
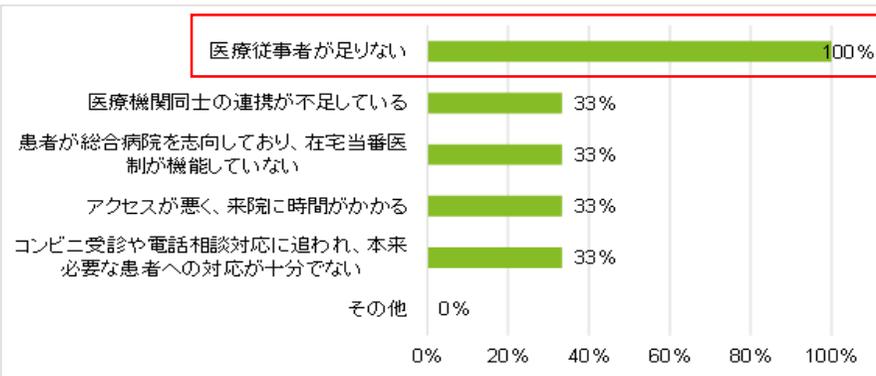
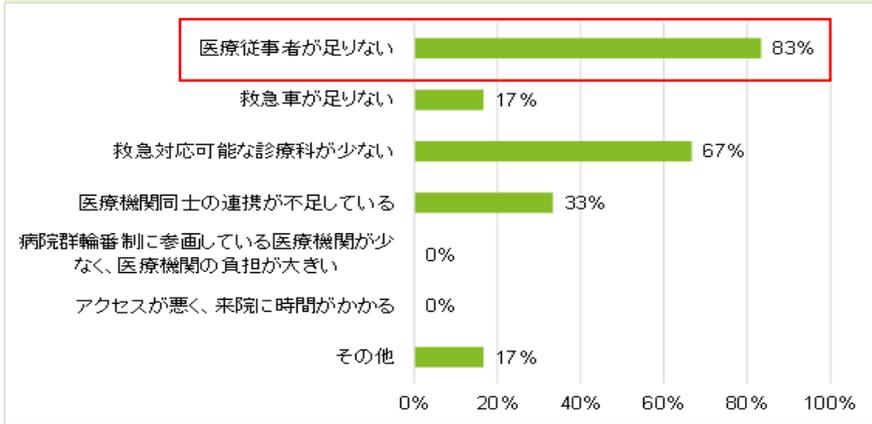
## 医療機関の初期～二次救急についての認識

**考察** ▶ 初期救急、二次救急に問題意識を持つ医療機関の認識として、診療所・病院を問わず、人手不足を挙げる声が多となっている。医療機関同士の連携の不足を挙げる声も多く見られる。

**Q.高梁市内の初期救急医療体制が「あまり充実していない」「全く充実していない」と思う理由を教えてください。(当てはまるもの全て選択)** \* 医療機関アンケート(診療所)問27、(病院)問37



**Q.高梁市内の二次救急医療体制が「あまり充実していない」「全く充実していない」と思う理由を教えてください。(当てはまるもの全て選択)** \* 医療機関アンケート(診療所)問29、(病院)問39



# 訪問診療を実施している診療所は3割程度であり、現在未実施の診療所においては、人手不足のため今後も実施困難と考えている

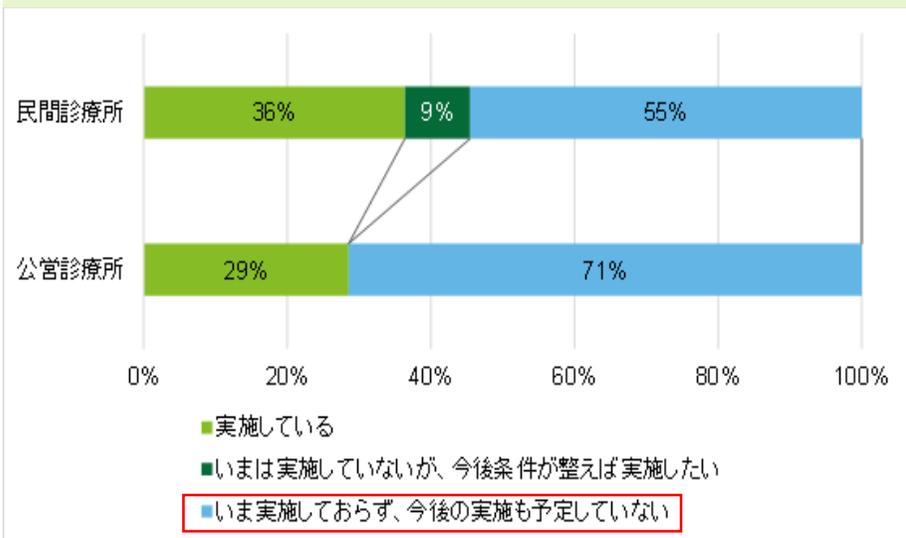
## 医療機関(診療所)の在宅医療(訪問診療)についての認識

### 考察

- 現状において訪問診療を実施している診療所も3割程度存在しているが、現在実施していない診療所のほとんどは、今後とも実施する予定はないと回答している。
- 今後も実施しない理由としては、人手不足が最大の理由となっている。

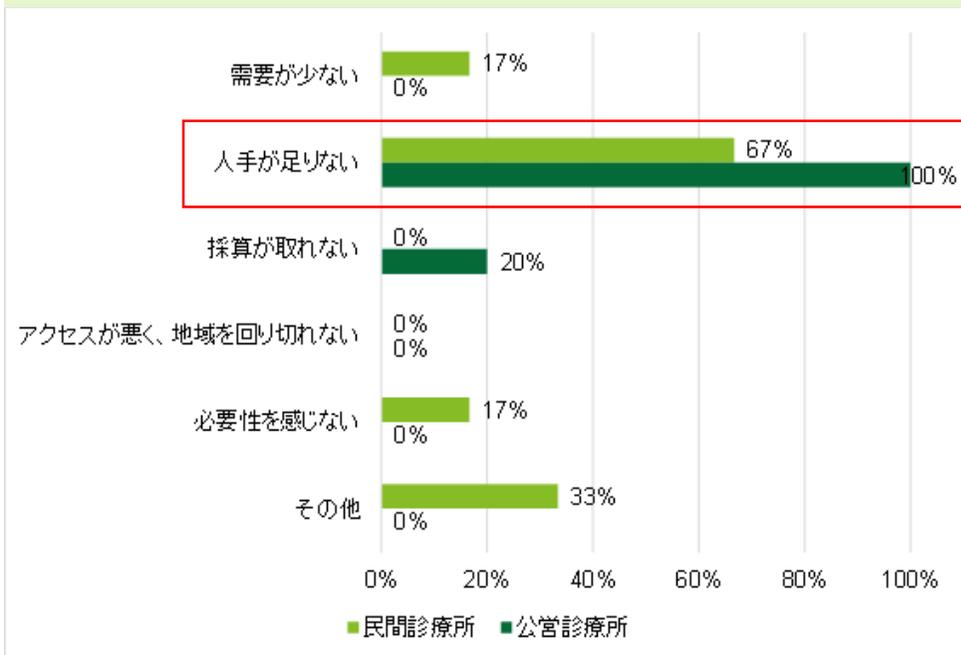
#### Q.貴機関では訪問診療を実施していますか。

\* 医療機関アンケート(診療所)問17



#### Q.訪問診療について「いま実施しておらず、今後の実施も予定していない」を選択した理由を教えてください。(当てはまるもの全て選択)

\* 医療機関アンケート(診療所)問19



# 医療従事者は在宅医療のニーズ増加を感じているものの、体制や人員の疲弊から、現実的には移行は難しいと考えている

関連論点

2

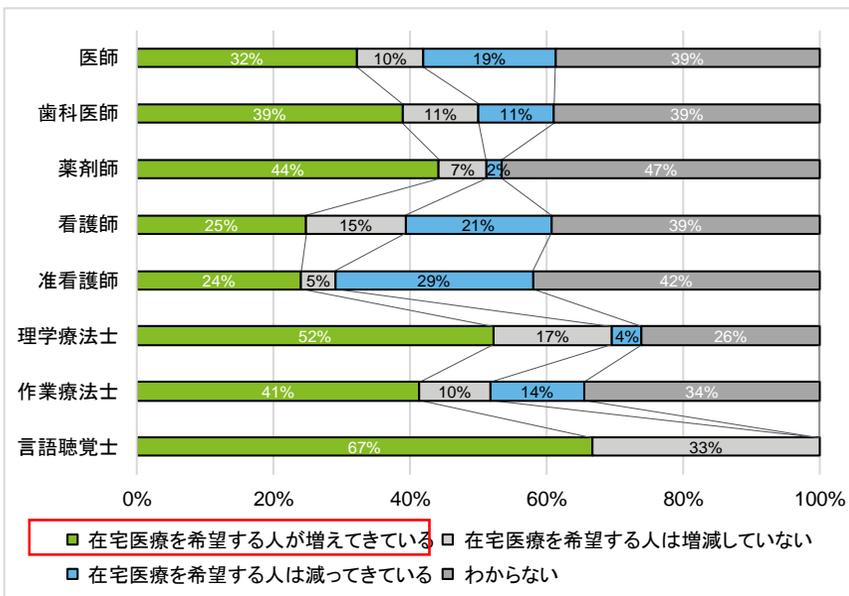
7

## 医療従事者の在宅医療についての認識

### 考察

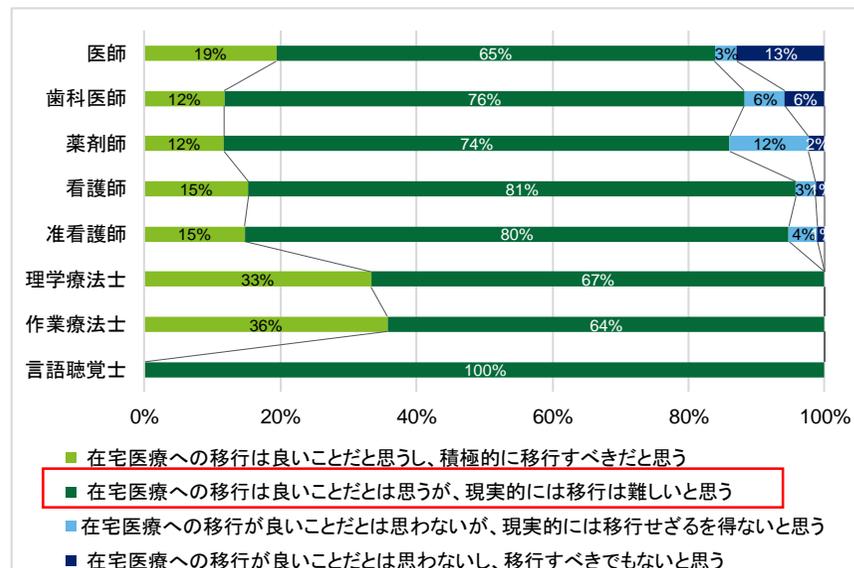
- ▶ 在宅医療のニーズが増大していると感じている医療従事者が一定数存在しているのに対して、全ての職種において、**現実的には在宅医療への移行は難しいという回答が大半**を占めている。
- ▶ その理由として、患者家族の負担の大きさを懸念する声もあるが、**医療機関側の手間、人手不足、時間的な余裕のなさといった事情**を理由とする回答が多い(\*)ことを考慮すると、**医療現場の疲弊から、在宅医療への移行に困難を感じている様子がうかがわれる**。(\*)医療従事者アンケート問28、29
- ▶ なお、リハ職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)はニーズ認識、対応ともに特に積極的な認識を持っている。

### Q.在宅医療のニーズに関して、あなたの身の回りの状況を教えてください。 \* 医療従事者アンケート問26



### Q.在宅医療について、あなたのお考えを教えてください。 \* 医療従事者アンケート問27

\* 医療従事者アンケート問27



# 遠隔診療の導入に対して、ほとんどの医療従事者が賛成の意向はあるものの、実際の導入に対して慎重な姿勢がうかがわれる

関連論点

2

7

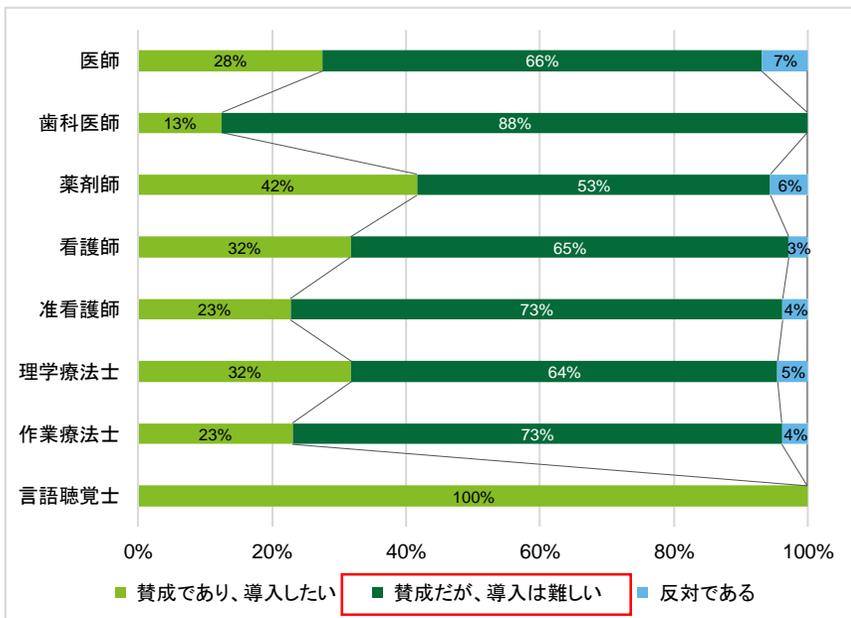
## 医療従事者の遠隔診療についての認識

考察

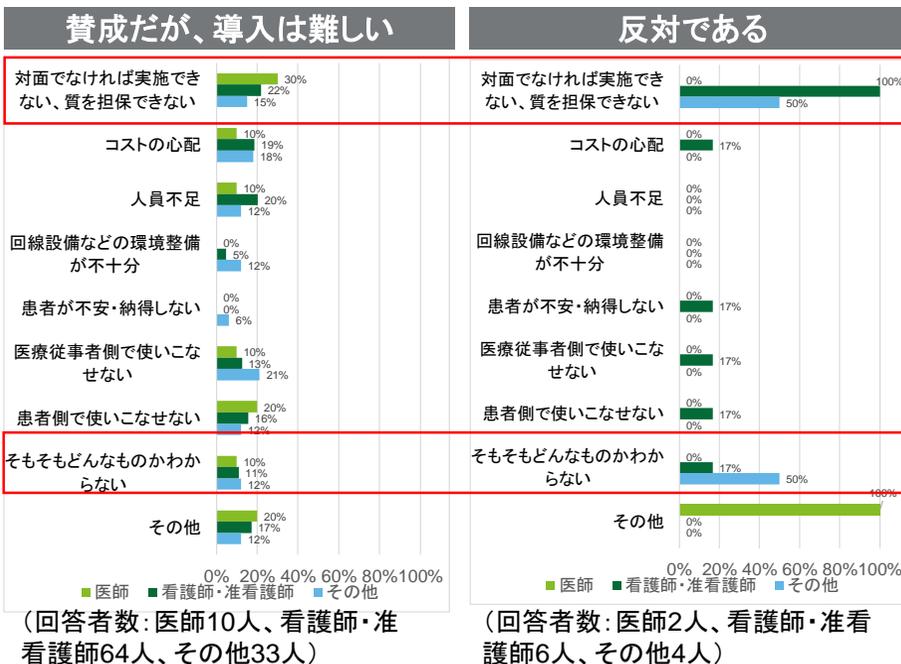
- 遠隔診療の導入に対しては、ほとんどの医療従事者が賛成している。しかしながら、多くの職種において導入は難しいという声が大半を占めている。
- その理由として、対面でなければ適切な診療を実施できない、医療の質を担保できないとする意見が多く見られる一方で、そもそも遠隔診療とはどんなものなのかわからない、医療従事者や患者が使いこなせないといった意見も見られる。

### Q.遠隔診療の導入について、あなたの考えを教えてください。

\* 医療従事者アンケート問30



### Q.問30(左記)の回答について、その理由を教えてください。(自由記述) \* 医療従事者アンケート問31



# 教育システムが機能していないと考える医療従事者も多く、また、研修生の定着が少ない

関連論点

7

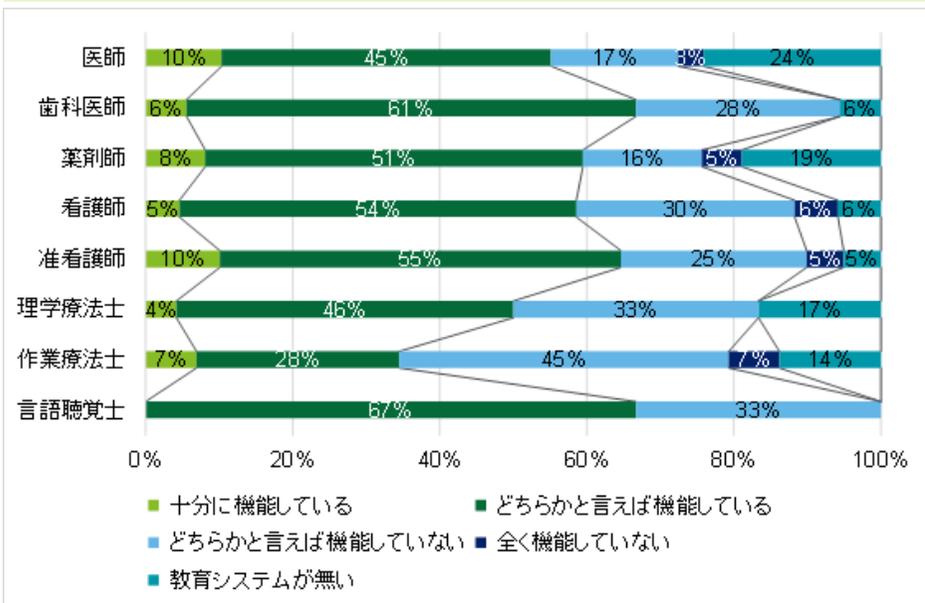
## 教育システムに対する意識、研修受入れ実績

考察

- 勤務先の教育システムについて「どちらかと言えば機能していない」「全く機能していない」「教育システムが無い」を合わせて見ると、**医師、薬剤師、看護師、准看護師において、4割程度が不十分を感じている。特に、理学療法士では半数、作業療法士では7割弱が不十分を感じている。**
- 過去3年の間に市内の病院で受け入れた研修生のうち、就職に結びついた者は看護師347名中5名のみとなっており、**研修生の定着が少ない。**

### Q.勤務先の教育システムについて、どう感じていますか。

\* 医療従事者アンケート問11



### Q.平成26年度から平成28年度の間研修・実習の受入れ実績がある職種について、受入れ人数と、研修・実習後に貴機関に就職した人数を教えてください。 \* 医療機関アンケート(病院)問15

- ✓ 平成26年度から平成28年度の間研修・実習の受け入れ人数は、医師が43名、看護師が347名、その他専門職が50名である。
- ✓ うち研修・実習後に就職したスタッフは、看護師5名である。

# 医療従事者、関連専門職の中において、連携不足を感じる職種として医師、看護師を挙げる声が多い

関連論点 **8**

## 多職種連携の意識

**考察**

- ほとんどの職種において、連携不足の職種として医師を挙げる割合が顕著に高い。次いで看護師の割合も高い。
- 医療従事者においてはケアマネ、関連専門職においては薬剤師を挙げる割合も高い。

### Q.あなたの職種と連携が不足していると感じる職種を教えてください。(当てはまるもの全て選択)

\* 医療従事者アンケート問18、関連専門職アンケート問9

	対象職種	対象職種								
		医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師	保健師	理学療法士	作業療法士	
医療従事者	回答者職種	医師	16%	12%	8%	16%	8%	20%	16%	16%
		歯科医師	56%	13%	25%	44%	13%	13%	25%	19%
		薬剤師	56%	25%	8%	39%	14%	11%	22%	22%
		看護師	48%	11%	13%	21%	8%	14%	14%	14%
		准看護師	43%	1%	9%	47%	30%	6%	8%	9%
		理学療法士	40%	16%	24%	24%	0%	16%	8%	8%
		作業療法士	68%	4%	21%	46%	14%	11%	4%	11%
		言語聴覚士	33%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	0%
関連専門職	回答者職種	管理栄養士	67%	40%	40%	27%	20%	13%	60%	47%
		医療ソーシャルワーカー	57%	14%	29%	14%	14%	43%	14%	29%
		精神保健福祉士	33%	22%	33%	33%	11%	44%	22%	11%
		ケアマネジャー	38%	16%	25%	25%	13%	16%	25%	22%
		介護職	26%	18%	15%	28%	7%	13%	23%	22%

	対象職種	対象職種								
		言語聴覚士	管理栄養士	医療ソーシャルワーカー	精神保健福祉士	ケアマネジャー	介護職	特にない	その他	
医療従事者	回答者職種	医師	16%	8%	4%	12%	20%	12%	44%	0%
		歯科医師	13%	19%	13%	13%	31%	31%	25%	0%
		薬剤師	17%	19%	25%	14%	42%	33%	25%	3%
		看護師	13%	11%	20%	13%	18%	10%	20%	3%
		准看護師	1%	8%	11%	6%	14%	26%	18%	0%
		理学療法士	8%	16%	24%	12%	40%	28%	20%	0%
		作業療法士	0%	4%	14%	11%	32%	21%	11%	0%
		言語聴覚士	0%	67%	0%	0%	33%	33%	33%	0%
関連専門職	回答者職種	管理栄養士	33%	27%	40%	27%	27%	20%	27%	7%
		医療ソーシャルワーカー	29%	29%	0%	29%	0%	14%	29%	14%
		精神保健福祉士	22%	22%	11%	0%	44%	33%	22%	0%
		ケアマネジャー	34%	16%	6%	19%	3%	16%	22%	3%
		介護職	15%	10%	15%	20%	15%	31%	20%	2%

# 医療計画策定についての受け止め (各アンケート結果の分析)

# 医療計画策定を支持する割合は高く、市民、医療従事者、医療機関のそれぞれにおいて、幅広い賛同が見られる

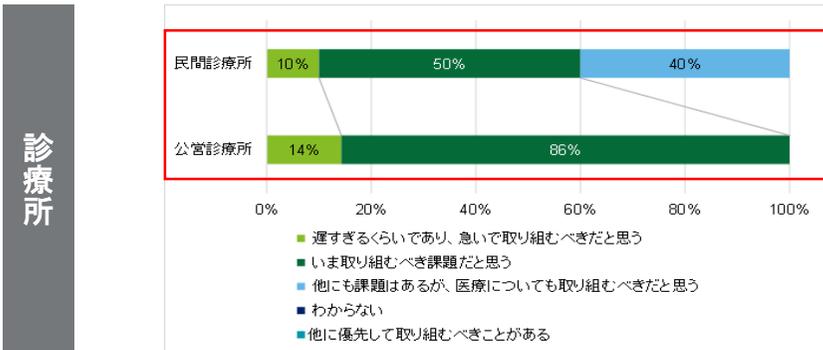
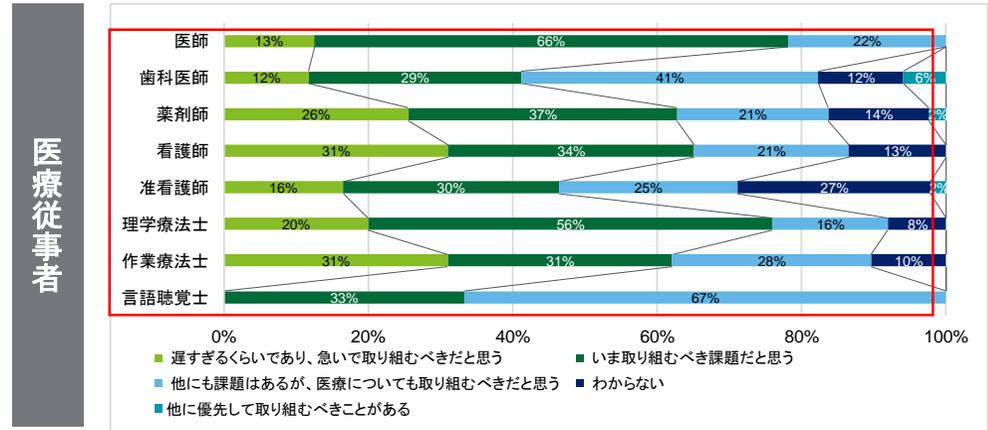
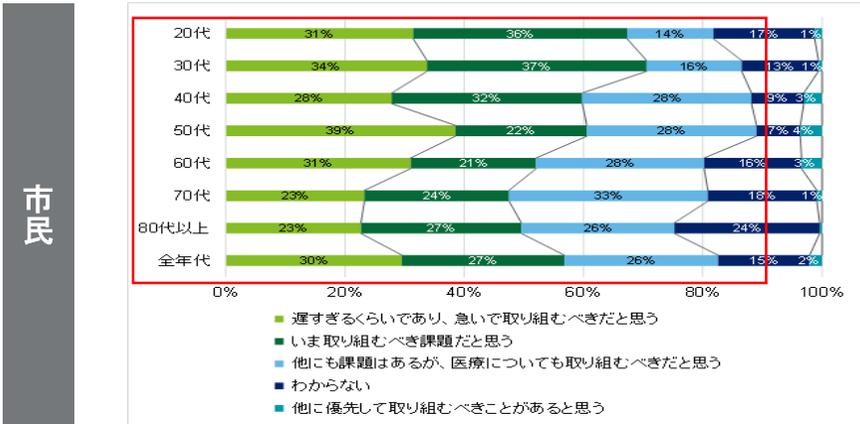
関連論点 **全般**

## 市民、医療従事者、医療機関の考え

**考察** ▶ 医療計画の策定について、市民、医療従事者、診療所、病院の全般において、「取り組むべき」という声がほとんどとなっている。

**Q.高梁市は地域医療の維持に危機感を持ち、医療計画を策定しようとしています。このことについてあなたのお考えを教えてください。**

\* 市民アンケート問58、医療従事者アンケート問16、医療機関アンケート(診療所)問24、(病院)問34



**病院**

✓ 回答のあった3か所全ての病院が「遅すぎるくらいであり、急いで取り組むべきだと思う」または「いま取り組むべき課題だと思う」としている。

# 4つの基本方針は、市民からまんべんなく支持されている

関連論点 **全般**

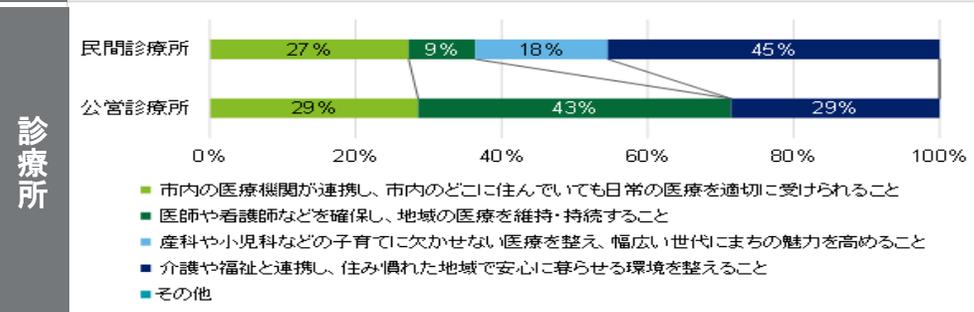
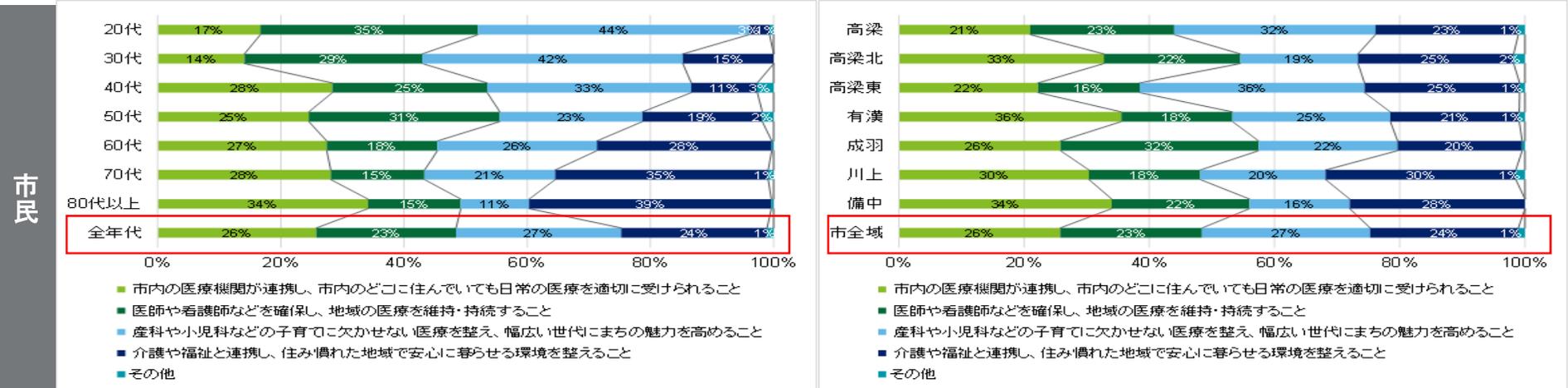
## 市民等が重要だと思う医療関連テーマ

**考察**

- 市民においては、年代により濃淡があるものの**全市民計で見ると4つの基本方針がまんべんなく支持されている。**
- 医療機関においては、民間診療所／公営診療所／病院により力点に差が見られ、**民間診療所では「介護や福祉と連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えること」が1位、公営診療所及び病院では「医師や看護師などを確保し、地域の医療を維持・持続すること」が1位**となっている。

### Q.高梁市内の医療に関連するテーマのうち、特に重要だと思うものを教えてください。

\* 市民アンケート問59、医療機関アンケート(診療所)問25、(病院)問35



**病院**

✓ 高梁市の医療に関するテーマで重要だと考えることとして、「医師や看護師などを確保し、地域の医療を維持・持続すること」が75%、「介護や福祉と連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えること」が25%となっている。